

8月5日：株式市場は4日続伸後の反落 流動性も減少

金曜日の株式市場は4日続伸後に反落し、1週間を終えた。VN指数が上値抵抗線に接近したことで投資家は消極的になった。

VN指数が前4営業日で4%の上昇を記録していたが、金曜日のホーチミン市場は0.11%安の1,252.74ポイントで取引を終えた。

流動性も同様に減少した。前営業日と比べると出来高は6億9,900万株と3.5%減少、売買高は15兆6,000億ドン（約6億7,240万ドル）と8.5%の減少となり、いずれも今週の最低を記録した。

ベトドラゴン証券のアナリスト、Phuong Phạm氏は「今週のこれまでの続伸を考慮すると需要は弱くなっており、その需要の減少はVN指数の上昇圧力がこれ以上高まることなく、移動平均線付近まで後退することを意味するだろう」と分析した。

主要株式の低迷が株式市場に影響した。VN30指数採用銘柄のうち8銘柄のみが上昇した一方で、18銘柄が下落した。

銀行や不動産会社が株式市場に大きな影響を与えることが多いが、VN指数を押し上げていた上位10銘柄のうち3銘柄が証券会社であったことは市場に衝撃を与えた。

証券会社セクターでは、4銘柄のみが下落したが、37銘柄は上昇を記録した。サイゴン証券（SSI）が最も多く買われ5.3%の上昇、VNダイレクト証券（VND）とベトキャピタル証券（VCI）がそれぞれ3.8%、4.2%上昇した。

一方でビンホームズ（VHM）、ビンググループ（VIC）、マサングループ（MSN）、ベトコムバンク（VCB）、ホアファットグループ（HPG）、ビナミルク（VNM）、ベトジェット（VJC）、ベトナム投資開発銀行（BID）などの値嵩株が主要な下落銘柄である。

Phuong氏はさらに「VN指数が徐々に上値抵抗線である1,260～1,280ポイントまで接近するにあたり、多くの銘柄の上昇はクールダウンの兆候を見せている。しかし、最近の上昇局面と比べると流動性の調整は比較的弱く、さらに売り圧力もそれほど強くない。」と述べている。

彼女は「市場では調整局面は続く可能性が高いが需要の復活が指数を下支えすることになる。」と考えている。最も近い支持線はVN指数で1,245ポイント、VN30指数で1,270ポイントにある。

金曜日のハノイ指数は0.73%高の299.9ポイントで終えた。流動性はホーチミン市場と同様に減少し、出来高は1.7兆ドン相当のおよそ9,200万株となった。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられるFiinProという情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利はJSIに帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。